

東アジア文化都市 ロゴ発表

川勝知事は、日中韓3カ国が文化芸術を発信する国際イベント「東アジア文化都市2023」のロゴマークを定例記者会見で発表した。考案は静岡文化芸術大学デザイン学部3年入江七海

さん。2023年から県内各地で開催される関連事業に使用する。

ロゴマークは、日本の飾り結びの一つ「総角(あげまき)結び」を結ぶ前のひもの形がモチーフ。結びつ



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

発表されたロゴマーク (県提供)

きの象徴である総角結びを青色、黄色、赤色の3色で表現し、富士山やハートの形を示した。3カ国の文化

振興や東アジアの交流発展の意味を込めたという。同大デザイン学部の学生約10人がイベントの趣旨を踏まえてロゴマークのデザイン案を提案し、県が選考した。

本県の東アジア文化都市事業は23年1〜3月を「プレ期間」として1年間継続する。県は2月23日の「富士山の日」に合わせたイベントでキックオフ宣言を行い、9〜11月の「コア期間」を中心に県内各地で多様な

事業を展開する予定。ロゴマークは3カ国の文化都市間の交流や式典、県独自の文化芸術事業のほか、市町や地域団体による連携プログラムなどで幅広く使われる。